

⑤桜井茶臼山古墳(さくらいちやうすやまこふん)



副葬品



桜井茶臼山古墳は、外山の国道 165 号線沿いにあります。桜井茶臼山という名前は、前方後円墳（ぜんぽうこうえんふん）の形が茶臼のように見えることからつけられました。

茶臼山古墳は、約 1700 年前の前方後円墳で、全長約 207 m、高さ約 21 m の巨大な古墳で、初期ヤマト政権(せいけん)の大王クラスの大きさです。

頂上（ちょうじょう）に壺（つぼ）がならべておかれていました。古墳の中からは、鏡（かがみ）・玉・剣（けん）や王者の力をあらわす杖（つえ）がでてきました。

クイズの答え 桜井茶臼山古墳